

北方領土新聞

青森県弘前市立南中学校

北方領土とは？

北方領土は、北海道本島の北東洋上に位置する、歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島の4つの島々のことです。四島の総面積は500.3km²で福岡県の面積に匹敵する大きさです。また最も近い歯舞群島の貝殻島(いかりがら)までは根室半島の納沙布岬(なつしほ)からわずか37kmしか離れていません。気候は、寒暖の差が比較的穏やかです。そしてさまざまな生物や魚介類が豊富です。今回私たちが行ったときは、きりかかって北方領土はみえなかったのですが、冬に来るとみえるそうです。ここで北方領土の面積の比較したいと思います。

北方領土の島々



北方領土のれきし

日本が北方領土を含む北方の島々のことを知ったのは、今から約300年前の幕府の頃のこととされています。ロシア人が初めて千島列島を探検したのは1701年(1700年)で、約100年前から日本領下の島々とならぬものも出てきました。1700年代には幕府は、北方の島々の経営に本格的に取り組むようになった。国後島、択捉島を中心に最上徳内、近藤重蔵、高田屋嘉兵衛の3名が勇敢に日本人が活躍しました。



過去には、1855年の日露通商条約、1875年の樺太千島交換条約、1907年のポーツマス条約、1957年のサンフランシスコ平和条約が取り決められています。最近では、2008年に日露首脳会談の際に、安倍総理とロシア大統領の間で23回目となる日露首脳会談が行われました。首脳会談の結果としては、1956年共同宣言を基礎として平和条約交渉を加速させることになりました。この条約を話し合っている間は、あまり変化がなかったように感じました。『シシニの島』という映画をみて、北方領土のことを知ることがお互いの国が良くなるかなと考えました。昔の生活の状況よりは改善しましたが、まだ解決しなければいけない問題は残っています。

北方領土の環境問題

北方領土の環境問題は、私たちが北方領土の動画には海に油や魚のゴミが落ちていて水の色も悪くなっている。この動画をみると原因がわかりました。原因は、ロシア人から捨てられたゴミです。北方領土に住むロシア人が食べ残した物のからみかたを捨てて生活排棄物をそのまま海に捨ててしまっている。その現状をきいたと、主権は日本人が持っている。環境は自分たちで守らなければならない。ロシア人の生活を変えてもらいたい。北方領土の現状を改善して、ロシア人の生活を改善して、ロシア人の生活の現状を改善するために、私達もロシア人の生活の現状を改善したい。私達もロシア人の生活の現状を改善したい。

伝えたいこと

私が今回の研修で伝えたいことは、北方領土の環境問題です。これはお互いの国を理解し合いたい。というにもできないので私達自身が考えたいかなければならない課題です。この北方領土問題は実際に現地に行かないとわからないと実感しました。ですから現地に行くのはなかなか難しい人もいると思うので、『シシニの島』という北方領土を舞台にした映画などをみるだけで理解を深められると思います。なので北方領土に全く感心が興味がない人達にも広めていきたいかなと思います。

